

水温は表層で「高め～極めて高め」、下層で「平年並～やや高め」で推移
(令和3年6月の海況と今後の予測)

令和3年6月11日
茨城県水産試験場

1 海洋観測結果 (5/31、6/1: 調査船「いばらき丸」)

- ・水温の平面図を図2、3、4に、鉛直図を図5に示しました。
- ・水温は0m深で18～21℃台、50m深で13～19℃台、100m深で12～18℃台、200m深で9～15℃台でした (図2)。
- ・前月と比較すると、会瀬～鹿島定線の広い範囲で昇温した地点がみられました。一方、黒潮が離岸した影響で犬吠埼定線の沖合では前月よりも降温しました (図3)。
- ・平年と比較すると、0m深では「平年並～高め」、50m深では「平年並～極めて高め」、100m深では「平年並～極めて高め」、200m深では「平年並～極めて高め」となりました (図4)。
- ・潮流は会瀬～大洗定線の141° 30' E以西、犬吠埼定線の141° 15' E～142° Eで真潮傾向、会瀬～鹿島定線の141° 30' E～142° Eで逆潮傾向となりました。

2 本県周辺海面水温の現況 (図1)

- ・NOAA衛星画像の表面水温図によると本県海域は19～22℃となっています。
- ・断続的な暖水波及により、本県海域は黒潮からの暖水に覆われています。
- ・黒潮の北限はかなり北偏しており、145° E付近で39° Nまで達しています。
- ・黒潮は犬吠埼の南東55マイルを北東に流れ、その流路は先月に比べて本県沿岸から離岸しました。

3 今後1か月の見通し

- ・暖水波及は黒潮の離岸に伴い断続的に発生する見通しです。
- ・本県海域の暖水は今後も残存し、水温は暖かい傾向が続くでしょう。
- ・1か月後の水温は、表層で「高め～極めて高め」、下層で「平年並～やや高め」となるでしょう。

(参考) 7月の表層水温 (東経142度まで) の30年平均 (1991-2020)

会瀬: 18～20℃台 大洗: 19～21℃台 鹿島: 18～22℃台 犬吠埼: 19～23℃台

詳しい情報は茨城県水産試験場ホームページをご覧ください。

(回遊性資源部 大森 健策)

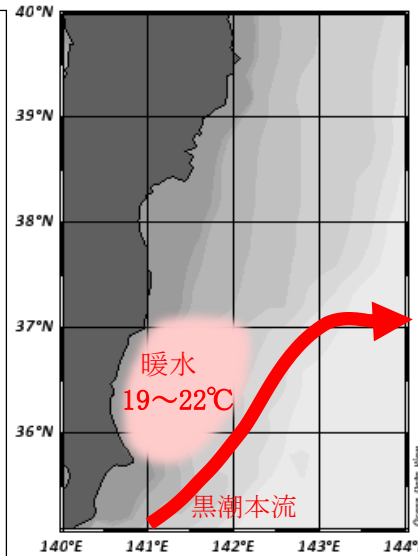


図1. 海面水温の現況 (6月10日)

※水温は平年値と比較して、
±1.5℃が「平年並」、
±1.6～3.9℃が「やや高め・やや低め」、
±4.0～6.0℃が「高め・低め」、
±6.1℃以上が「極めて高め・極めて低め」

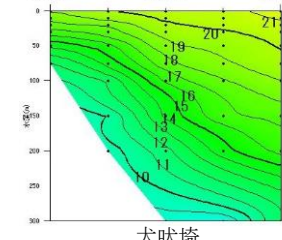
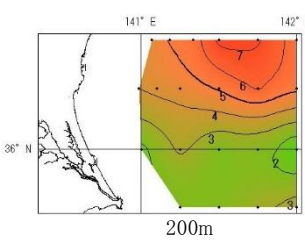
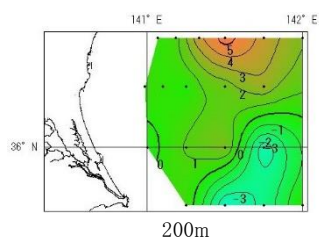
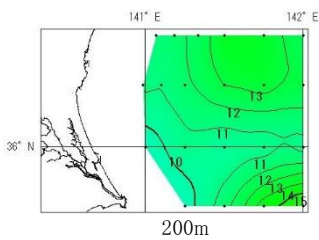
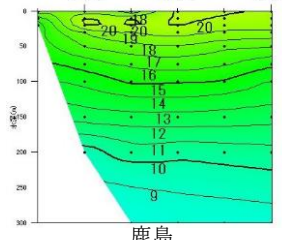
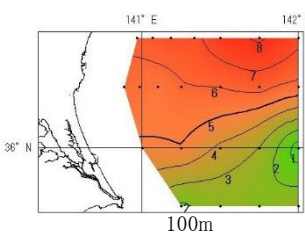
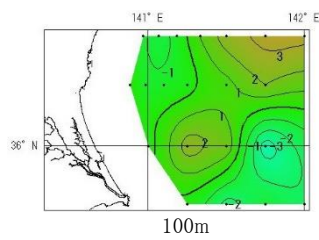
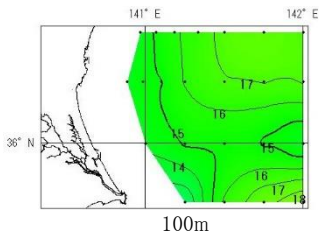
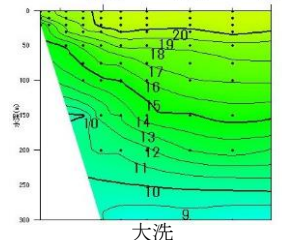
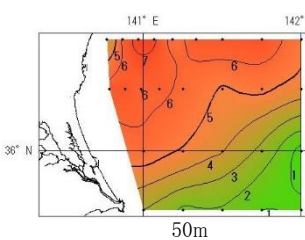
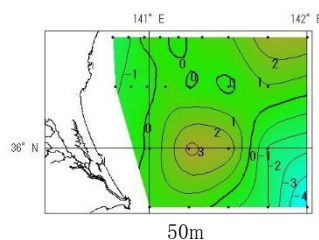
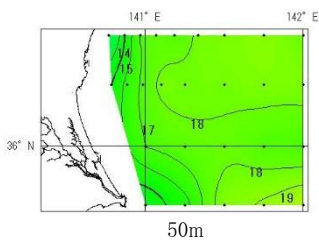
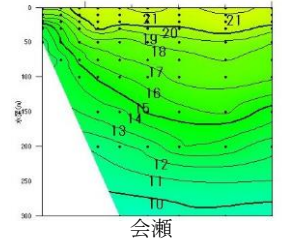
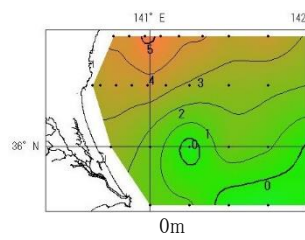
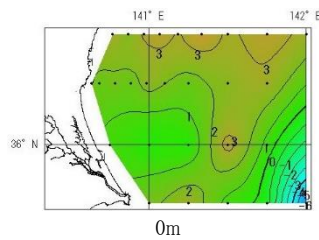
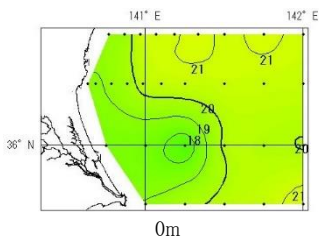


図2. 層別水温

図3. 層別水温前月差

図4. 層別水温平年差

図5. 鉛直水温